

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公開番号】特開 2012-136388 (P2012-136388A)
 【公開日】平成 24 年 7 月 19 日 (2012.7.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-028
 【出願番号】特願 2010-289972 (P2010-289972)
 【国際特許分類】

C 3 0 B 29/36 (2006.01)

C 3 0 B 19/06 (2006.01)

C 3 0 B 19/08 (2006.01)

【F I】

C 3 0 B 29/36 A

C 3 0 B 19/06

C 3 0 B 19/08

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 2 日 (2012.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 8】

〔シミュレーション結果〕

算出された平均流速を表 3 に示す。「 $\frac{IDB}{IDT}$ 」欄には、内径 IDT に対する内径 IDB の比を示す。さらに、図 11 は、表 3 中の「 $\frac{IDB}{IDT}$ 」と「平均流速 (mm/s)」との関係を示す図である。図 11 中の横軸は、「 $\frac{IDB}{IDT}$ 」を示す。表 3 中の縦軸は、「平均流速 (mm/s)」を示す。

表 3 及び図 3 を参照して、各設定条件ともに、平均流速はプラスであり、いずれの設定条件においても上昇流 F1 が形成された。さらに、IDB / IDT 値が 0.25 ~ 0.65 の場合、上昇流 F1 の平均流速が 10 mm/s 以上であった。さらに、IDB / IDT 値が 0.30 ~ 0.60 の場合、それ以外の場合と比較して、平均流速が顕著に高くなり、20 mm/s を超えた。